

Let's enjoy living in Matsuura-city! 青の大学 Journal September, 2019

「住みよさランキング2019」長崎県内1位!

青大新聞

Vol.18

1位の理由と
環境の魅力。

東洋経済新報社が全国の812市区を対象に公表した「住みよさランキング」。松浦市は九州・沖縄ブロックで7位、長崎県で1位にランクインしました。

評価の指標は、東洋経済独自の「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」の4つの視点による22のデータで、評価が高かったのは「安心度」①人口当たり病院・一般診療所病床数、②老年人口当たり介護老人福祉・保健施設定員数、③20～39歳女性人口当たり0～4歳児数、④子ども医療費助成⑤人口当たり交通事故件数、⑥人口当たり刑法犯認知件数の6つのデータを元に評価されました。



特に高評価だった
子ども医療費助成。

「安心度」の6つのデータで特に高評価だったのは④子ども医療費助成。0歳～18歳になる年度末まで、※1カ月1医療機関ごとに1日八百円を超える医療費（保険診療分）を助成。これは松浦市独自の取り組みです。

※2日以上受診のときは上限千六百円。
ただし、調剤分は全額助成。



都市圏にはない
子育てしやすさ。

松浦市で子育てして感じるのは、子連れでの出かけやすさ。都市圏では、駐車場の空きがなかったり駐車場代が高額だったり、お店や公園は人が多く子どもがのびのびできない…なんてことも少なくありません。

人も環境もゆったりとしたまちだから、赤ちゃんと連れでの外食や買い物も比較的安心。これが③20～39歳女性人口当たり0～4歳児数にもつながっているのかもしれない。



松浦市 大人の学び場

青の大学

松浦を知ろう!学ぼう!楽しもう! くわしくは「青の大学」で検索 /

政策企画課 ふるさと納税・魅力発信室 info@ao-university.com ☎0956-72-1111

松高だより

■学習合宿～仲間の頑張りに勇気をもらいました～

7月28日から6日間、平戸市田平町のグラスハウスで学習合宿が行われ、28名の3年生が参加しました。生徒たちは仲間の頑張る姿に勇気をもらいながら長時間の学習に取り組み、受験を勝ち抜くための確かな学力を身に着けました。1・2年生も7月29日からの3日間、校内で行われた学習会に参加し、進路実現に向けて全力で学習に取り組みました。



■オープンスクール～中学生の評価も上々でした～

8月5日、オープンスクールが開催され、350名ほどの中学生、引率の先生、保護者の方々が本校を訪れました。吹奏楽部による歓迎演奏、生徒会による学校紹介、模擬授業、部活動見学などが行われ、それぞれの運営に多くの松高生が関わりました。参加した中学生からも「松高の先生方や先輩方が優しかった」「松高は楽しそう」との感想が寄せられました。

